

平成25年度 第3回教育研究評議会議事録

日 時 平成25年5月15日（水）14時30分～18時10分

場 所 事務局大会議室、工学部大会議室

出席者 伊東、石井、碓氷、浅利、前田、柳澤、杉山、木村、東郷、中野、鈴木、今野、寺村、平岡、國宗、菅野、西原、酒井、藤井、増田、青山、塩尻、佐古、星野、中山、糠谷、河合、鳥山、永津、田中、三村、朴、高松の各評議員

欠席者 梅澤評議員

陪席者 大戸、徳山の各監事
中村学長補佐

I 議事録の承認について

平成25年度第2回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 理事及び副学長の職務分担に伴う諸規則の一部改正について

議長から、平成25年4月1日の理事及び副学長の職務分担の変更に伴う、「国立大学法人静岡大学利益相反マネジメント規則」、「国立大学法人静岡大学利益相反委員会専門部会細則」、「静岡大学未来創成基金運営委員会規程」、及び「静岡大学城北総合研究棟運営委員会規則」の一部改正について、資料1により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、静岡大学城北総合研究棟運営委員会規則第3条第1項第1号に規定する委員については、柳澤副学長（リスク管理・特命事項担当）を指名することの発言があった。

2 静岡大学自主防災規則の一部改正について

前田委員から、平成25年度における理事及び副学長の職務分担の変更並びに平成24年4月1日の保健センターの組織変更に伴う、静岡大学自主防災規則の一部改正について、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、同規則第21条第3項に規定する浜松地区連絡本部長については、柳澤副学長（リスク管理・特命事項担当）を指名することの発言があった。

3 静岡大学大学院規則の一部改正について

石井委員から、平成25年度から防災総合センター教員が農学研究科に兼務することに伴う、静岡大学大学院規則の一部改正について、資料3により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 タラス・シェフチェンコ・キエフ国立大学（ウクライナ共和国）との大学間交流協定の締結について

鈴木委員から、標記協定の締結について、資料4により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、同委員から、協定の締結について問題はないが、同大学に軍事関係組織が存在し、今後の交流活動に懸念があることから、具体的な交流については、個別に安全保障輸出等管理室に相談を行う事とした旨の発言があった。

5 マサリク大学（チェコ共和国）との大学間交流協定の更新について

鈴木委員から、標記協定の更新について、資料5により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 ガジャマダ大学（インドネシア共和国）との大学間交流協定の更新について

鈴木委員から、標記協定の更新について、資料6により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

7 タマサート大学（タイ王国）との大学間交流協定の更新について

鈴木委員から、標記協定の更新について、資料7により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

8 アルバータ大学（カナダ国）との大学間交流協定にかかる覚書の改訂について

鈴木委員から、標記協定にかかる覚書の改訂について、資料8により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

9 浜松を光のメッカに ～浜松宣言2013（案）について

議長及び木村委員から、地域資源等を活用した産学連携による国際科学イノベーション拠点整備事業に採択されたことによる、関係4機関による宣言及び今後の活動方針等について、別添資料1により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、同委員から、「メッカ」の標題への使用については、関係機関に再度確認する旨の発言があった。

また、同宣言については、関係4機関において調整し作成することから、最終案については、学長に一任することとした。

10 教員の休職について

増田委員から、病気休職中の理学研究科准教授を、引き続き平成25年6月1日から平成25年8月31日までの間休職とすることの提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、同委員から、8月において、9月1日以降引続き休職が必要となった場合は、8月に評議会が開催されないことから、9月評議会において、事後承認としたい旨の発言があり、併せて承認した。

11 学生の懲戒について

杉山委員から、学生の懲戒について、別添資料2により説明があり、種々意見交換を行い、審議の結果、学生懲戒処分（案）について、本文の修正を杉山委員に一任することとしたほかは、原案どおり承認した。

なお、議長から、今後、処分内容に抵触しない範囲における処分（案）の文書修正等は、教授会及び学生懲戒委員会の審議にかかわらず、本会議の審議によって、ブラッシュアップを行っていくことも、必要である旨の発言があった。

また、議長から処分内容については、本会議の審議の結果、処分（案）を差し戻す可能性もあるとの発言があった。

III 報告事項

1 企画戦略会議報告

議長から、第2回企画戦略会議（H25.5.1）について、資料9により報告があった。

2 コア教員の欠員補填の手順について

議長から、新研究所・創造改組等準備委員会において、検討されていた、創造科学技術大学院・電子工学研究所・グリーン科学技術研究所のコア教員欠員補填にかかる手順について、資料10により報告があった。

なお、議長から、平成25年度創造科学技術大学院コア教員の人事について報告があり、渡邊 尚 氏の退職後の後任として、工学研究科から渡邊修治教授が配置換となり、同時に浜松研究院長として任命されたことについて報告があった。

3 平成24年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針（案）について

浅利委員から、平成24年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針（案）について、資料11により報告があった。

なお、議長から国際化推進施策については、来年度以降、施策の実施状況を鑑みながら、必要に応じ予算化していく旨の発言があった。

4 平成25年3月卒業・修了者の進路状況について

杉山委員から、平成25年3月卒業・修了者の進路状況についてについて、資料12により報告があった。

なお、議長及び同委員から、就職未内定者をフォローする観点から、今後、特任教員を採用し内定率のアップを目指す旨の発言があった。

また、議長から、各部局において未内定状況について検証し、今後の対

応について検討するよう要請があった。

5 産学連携に関する業務協力覚書の締結について

木村委員から、「静岡信用金庫」及び「富士宮信用金庫」それぞれとの産学連携に関する業務協力覚書を締結したことについて、資料12により報告があった。

なお、議長から、今後、本覚書のような、包括協定に類するものの本会議への諮り方については、個別に事前相談の上判断する旨の発言があった。

6 教員採用等報告について

議長から、理学研究科2名、工学研究科2名、グリーン科学技術研究所1名、イノベーション社会連携推進機構1名について、資料14により報告があった。

IV その他

1 平成24事業年度に係る業務実績に関する報告書について

浅利委員から、平成24年事業年度に係る業務実績に関する報告書の作成スケジュールについて、資料15により案内があり、本報告書の作成について各部局へ協力要請があった。

2 ハラスメント事案に関する概要報告について

杉山委員から、今後、ハラスメント事案に関する情報を共有し、防止していく観点から、本会議へのハラスメント事案に関する概要報告の可否等について、資料16により提案があり、種々意見交換を行い、ハラスメント防止対策委員会において、ハラスメントとして認めた事案について報告することとした。

なお、様式について、「部局等」の欄は削除することし、本会議における取扱いについては、本会議終了後に報告を行う等、再度検討することとした。

また、議長から、守秘義務を踏まえ、教授会での公表時における取扱いについて工夫が必要である旨の発言があった。

(意見交換で出された主な意見等) △は執行部

○ ハラスメントとして判断されない事案についても、報告されるのか。

△ 報告の取扱いについて、ハラスメント防止対策委員会において、検討する。

3 研究大学強化促進事業について

議長、碓氷委員及び前田委員から、研究大学強化促進事業におけるヒアリング対象機関選定から、本学が外れた旨の説明及び報告があり、種々意見交換を行った。

なお、議長から、指標に掲げられた事項等を意識しながら、更なる戦略的取組みが必要である旨の発言があった。

(意見交換で出された主な意見等) △は執行部等

△ 本学の総合点、ランキングについては公表されていない。(1-1 科研費の研究者当たりの採択数、1-6 戦略的創造研究推進事業(新技術シーズの創出)の採択数については、ポイントが取れている。)

- 指標に関し、文系学部の今後の取組みについて、指導いただきたい。
- 産学連携に関し、イノベーション社会連携推進機構の人的体制が充分でないこと、同機構への方向性の提示など、対応をお願いしたい。

4 教職課程認定大学実地視察について

石井委員から、7月2日(火)に予定されている、教職課程認定大学実地視察のスケジュールについて、下記のとおり案内があり、各部局長及び教務委員長について、質疑応答及び講評の時間帯において同席いただくよう協力要請があった。

質疑応答 10:00~12:00

施設見学等 午後

講評 15:00~16:00

5 徳川みらい学会講演会の開催について

石井委員から、席上配付資料により、徳川みらい学会講演会(4月18日から6回開催予定)について、案内があった。

以上